

ぶどうの樹

2016.12
NO. 19



写真：第66回 外語祭の様子

INDEX

特集1: 留学座談会

特集2: インターナショナルディ開催

6 プロジェクト科目

7 高大連携

8 新任教員紹介

9 保護者会

10 寄付事業

特集1

留学座談会



留学から帰ってきた日本人学生と、現在本学に留学している外国人留学生との座談会を行いました。

参加者

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| アムガール・ザカリア・スリムさん (短期留学生/フランス) | 永野康太さん (3年/留学先: フランス) |
| イ・ジェフンさん (短期留学生/韓国) | モートン・レイチェル・アンさん (短期留学生/アメリカ) |
| 後水流咲彩さん (3年/留学先: 韓国) | リク・カエイさん (短期留学生/中国) |
| 清田朝良さん (3年/留学先: 中国) | 司会: 富田高嗣教授 (フランス演劇) |
| 高森成子さん (3年/留学先: アメリカ) | |

Q.なぜ留学をしようと思ったのですか

永野さん：僕はとにかく海外に行ってみたくてという思いがあり、留学に行くことは決めていました。留学先にフランスを選んだのは、実は「スペインに近いから」。どうしてもサグラダファミリアに行ってみたくて(笑)。あと、海外での一人暮らしに挑戦したいと思っていました。

後水流さん：私は特に資格があるわけでもないのですが、せめて韓国語は流暢に話せるレベルまでを磨き上げていかなければ、という焦りがありました。

高森さん：私も、小学生の頃から英語をずっと勉強していたのですが話せるようにはなりません。そこで高校生の時に留学を決意し、長崎外大に入学したんです。

(司会)：日本で外国語を勉強すると読み・書きが中心で会話のトレーニングが少なく、どうしても会話を苦手にする人が多いですね。

イさん：韓国も同じで会話練習は少ないです。私も日本語を勉強して10年になりますが、会話はできません。そこで韓国の大学の先生から会話能力を鍛えるために日本への留学を勧められました。

リクさん：中国の大学も会話の授業もあるのですが、授業中に学生は黙って聴いているばかりですね。アジアはどこもそうなのですか…。

アムガールさん：フランスは文法などと同様に会話の授業も重視されるのですが、それでも「会話の授業をもっとやってほしい」という物足りなさがありました。

(司会)：アメリカではどうですか？会話の授業はたくさんありましたか？

モートンさん：私は実は日本語の授業を受けていません。自分で教科書を買って勉強していました。
(全員)：えっ？すごい！

アムガールさん：ひらがなの書き方も？
モートンさん：そうです。そしてもっと難しい表現も勉強したいと思って留学しました。

アムガールさん：私は日本に関する修士論文を書く準備のために留学しました。それに、日本で国際交流の経験を積みたかったというのがあります。

Q. 留学先に行ってビックリしたこと

永野さん：「ビックリしたこと」…。多すぎますね(笑)。フランスは日没が遅くて夏は夜遅くまで外が明るい。逆に冬には日の出が遅いので、朝も真っ暗で学校に遅刻しそうになりました。あと、フランスは車も信号無視をすることが多い。道を渡っていて轢かれそうになることもありました。「車の方が優先！」と思っているのかも。

清田さん：中国で一番驚いたことは、留学初日の夜に大学に着いたら、入居予定の寮が未完成で「泊まる部屋がない」と言われたこと。その夜は修繕中の、クモの巣が張っているようなとても汚い部屋に泊まりました。翌日に大学側に尋ねてみると、「部屋がないからホテルにしばらく泊まって」と言われ、結局1か月間ホテル暮らしでした。

(司会)：これはひどい例だけど、留学するにあたって最初のイメージと違っていったという例は多いよね。

清田さん：でも、これで精神的にはすごく鍛えられました。

永野さん：フランスに行ってショックだったことの中に、まず、パリの道に犬の糞が多すぎる。他にビール瓶の破片などが落ちていて、道が汚いのは意外でした。

後水流さん：韓国も、道にごみが多すぎます。明け方だけは掃除してきれいになっているのですが、昼過ぎにはまた道にごみが溢れている。それと、なかなか慣れなかったのが、使用済みのトイレットペーパーを便器に流してはいけないこと。流すと詰まるから。

(司会)：お手洗いは日本が一番いいかもしれませんね。
高森さん：アメリカのトイレで驚いたのは、どこのトイレに行っても、手を洗った後に手を拭く紙が必ず置いてあることです。それから、トイレの個室の壁の下に隙間が大きく空いていて、外からでも中にいる人の足が見えるんですよ。

(司会)：フランスでも昔はそうでした。あれは防犯上の問題らしい。あと、男女共用のお手洗いも多いです。
高森さん：アメリカで困ったことは、寮費を支払うために大学の担当窓口に行ったのですが、向こうがシステムを把握していなく

て、こちらが一から十まで全て説明をしないとイケませんでした。こちらが把握していないから、多く払い過ぎてしまったこともしばしばありました。

(司会)：ここまで話を聞いてみなに共通していると思うのは、そういった体験を通じてメンタルが鍛えられたということですね。では、今度は日本に留学している皆さんに訊いてみましょう。日本に来てみてビックリしたことは何ですか？

イさん：後水流さんの言う通り、確かに韓国はとても道が汚いです。日本に来て、道がきれいなことにビックリしました。それから、コンビニなどで、2、3秒しか待たされていないのに店員さんから「お待たせいたしました」と言われることに驚きました。丁寧だと思いますけど、ほんの一瞬しか待たせていないわけですから、「本当にそう思って言っているのかな？」と疑問に思うこともありますね。(笑)

後水流さん：韓国ではコンビニの店員さんは静かですね。接客中も無言で、いろいろ話しかけては来ません。
(司会)：私は韓国語が話せないで、韓国に行った時、そういう接客だとかえって助かります。(笑)

リクさん：私は日本に到着したとき、長崎市内のホテルに一泊しました。そして翌朝チェックアウトする時に、ホテルの方が部屋を点検しないことにビックリしました。中国ではホテルをチェックアウトする際に、ホテル側が必ず部屋を点検して無くなった物品がないか確認するんです。日本と中国の安全に対する考え方の違いにとても驚きました。

アムガールさん：私は日本に着いてまだ1か月ですが、最も印象深いのは、日本では私は「外国人」として注目されているのを感じます。また、日本人と話をして「こんにちは」「ありがとう」など日本語の簡単な言葉を交わしただけで、必ず「日本語が上手ですね!」と言われる。(笑)
それから、フランスよりも湿度が高いことにはビックリしました。夜も眠れませんでしたし、シャワーを浴びた後もすぐに汗が出てくるのは困りました。

高森さん：私が留学したアメリカのネバダは逆にすごく乾燥していて、最初は喉が痛くなったり、何もしていないのに突然鼻血が出てきたりしました。外を歩くときは水を常に持ち歩いているといけなほどでしたね。

Q.これから留学に行こうと考えている人に向けてのメッセージ

(司会)：じゃあ、これはまず私から。教員の立場からこう言うとな怒られてしまうかもしれませんが、「留学は勉強するために行くけど、絶対に遊んだ方がいい。」みんな、留学はした方がいいと思う？

(全員)：した方がいい！
永野さん：僕が言いたいのは、「留学に過度の期待をしない方がいい」ということです。留学は楽しいことばかりではないし、嫌なこと多い。僕はあまり期待せずに行ったから、意外と楽しいことが多いと思って「またフランスに行きたい」と思いました。外大ではない他の大学から留学に来た人たちは、きれいな街並などに高い期待を抱いていたぶん、逆に幻滅して「早く日本に帰りたい」と言っている人もいたんです。

高森さん：そうですね。事前に正確な、本当の情報を教えてもらった方がいいですよ。
リクさん：これから日本に留学する人たちに言いたいのは、来る前に日本の文化を少しでも勉強しておいた方がいいということです。

(司会)：なるほど。これは日本から留学する時も一緒かもしれませんね。
後水流さん：私は逆に、「日本人なのに日本について知らないことが多過ぎるな」と痛感しました。現地の人から日本について尋ねられても、知らないことが余りにも多い。

(全員)：ああ、それはありますね！
イさん：私が思うのは、「海外に行ったからと言っても、現地の人とは外国人を珍しがって近づいてきてはくれない」ということです。自分が積極的にならない限り、距離を縮めることはできません。

高森さん：そうですね。留学に行けば外国語を話せるようになるという考えは間違っていると思います。
清田さん：私も、留学中にもっと頑張っておけばよかったと思うこともあります。

永野さん：留学から帰国後もフランス語を使っていけないと、どんどん忘れていっちゃいますね。帰国後も意識的にフランス人と話す機会を持つことの大切さを感じました。

(司会)：そうだね。留学に行って帰って来た後も大事。定期的に外国語を話す機会を持つことは重要だね。

エッセイ 留学してきた目的

左:キム テジン 右:リン カミン



キム テジン
私は大学に入って、レベルの高い勉強をすることと共により多くの機会を得たいと思いました。この大学に来て、私はとても広い「機会の森」に入った気がします。勉強と経験を合わせればこそ、より素晴らしい自分になれると思っていた私には、留学することは必要不可欠な要素になっていました。そして、長崎外国語大学にきて充実した留学生活をするために、私は多様な挑戦をしたいです。

まず、近々行われる日本語弁論大会に参加したいです。結果は重要でないと思います。いい結果を出そうとする心と努力、挑戦しようとする心意気こそ、私が思っている大学生としてのやるべきことです。

年をとって挑戦することで失うものが増えてしまう前の、今のこの時期に、私はより素晴らしい自分になるため、「機会の森」である留学生活を利用して頑張ります。

リン カミン (林 家民)
私が留学してきた目的は日本語の上達のためです。最初に日本語を勉強すると決めたときから、長崎外大に来て日本で生活するのが私の望みでした。自分の目でちゃんと日本という国のさまざまなことを確認しようと思っています。

今は、留学の期間内に、努力して日本語のレベルをもっと上げて、新しく学んでいる韓国語も会話ができる程度まで習いたいです。そして、就職活動にも積極的に参加して、内定をもらって、日本の会社で働こうと思っています。

そして、日本人と別々の国からの留学生たちと友だちになり、他の国の文化を意識することも、私の希望です。今の時代、国際的な視野は私たちのような大学生には不可欠なものだと思います。

最後に、日本人の彼女もほしいです。私は台湾人の女の子の持っていない日本人の女の子の優しい雰囲気にかかると、日本人の女の子と付き合おうと思っています。

「インターナショナルディ」を開催しました

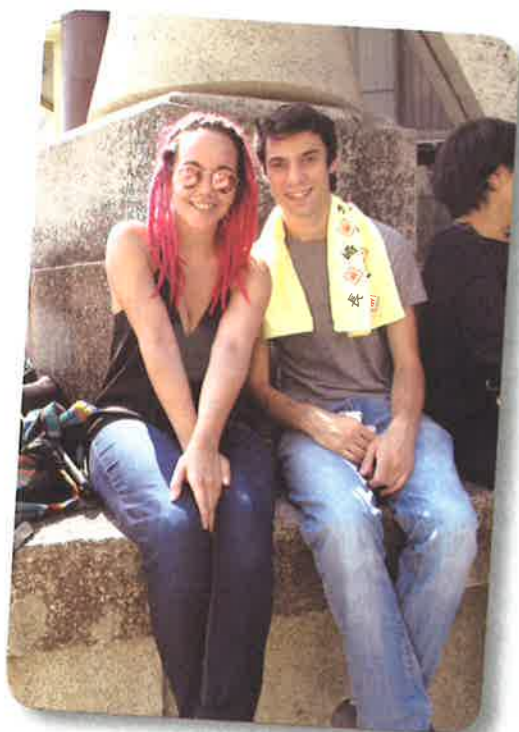
国際コミュニケーション学科教授 田口 武史

2016年10月7日(金)、本学初の取り組みとなる「インターナショナルディ」が開催されました。様々な国籍の学生が集い、様々な言語が飛び交う本学では、いわば毎日がインターナショナルディと言えるわけですが、日本人学生と留学生との交流をなお一層活発にすることを目的とし、特別な一日を設定しました。

そもそもこの企画は、クラウディア・マラ教授(国際コミュニケーション学科)の「せっかくたくさんの留学生が長崎に来ているのに、ここの最大の祭りである『おくんち』を見学できないのはいかにも残念だ」というひと言から始まりました。これを受けて学部運営会議で討議した結果、「おくんち」期間中の一日を全学休講とし、日本人学生と留学生とで一緒に長崎の伝統文化に触れる機会を持つこととしました。授業等で広く学生たちに参加を呼び掛けるとともに、長崎外国語大学保護者会のご支援を頂き、参加記念品としてオリジナルデザインのタオル(写真の学生たちが身に付けている黄色いタオル)を作成しました。

当日は見事な秋晴れ、またとない祭り日和に恵まれました。正午に長崎歴史文化博物館広場にて参加記念品の配付を開始すると、次々と本学学生が訪れ、わずか15分ほどで準備した100枚のタオルがすべてなくなってしまいました。先着順だったため、残念ながらもらい損ねた学生も多くいたようです。その後、学生たちはグループごとに思い思いの場所に繰り出し、出し物や露店を楽しんでいました。

来年度以降もこの「インターナショナルディ」を開催し、さらに楽しい国際的長崎体験となるよう取り組みを進めます。ぜひ皆様もご参加下さい。



2016年度 文化フィールドワークin平戸

国際コミュニケーション学科 准教授 土居 智典

長崎は、戦国の末期から近世にかけて東アジア海域交流の要所でした。長崎市内の出島や唐人屋敷が、貿易や文化交流の拠点であったことは、国内外でもよく知られており、本学に留学に来る外国人学生も、往時の様子をうかがわせる史跡の見学や伝統行事に、積極的に参加しています。しかし、長崎市外のとくに県の島嶼部においても東アジア海域交流の拠点が存在したことは、国内外での認知度はまだまだ高いとはいえ、学生もせっかく長崎に来たのに、壱岐・対馬・五島などには全く足を踏み入れずに長崎での生活を終えてしまうケースが数多いようです。そこで「文化フィールドワーク」の授業では、調査・研究のフィールドを島嶼部に設定し、積極的に東アジア海域での文化交流の様子を知ってもらおう機会を設けることにしました。2014年度は壱岐、2015年度は対馬と場所を変え、今年は平戸を舞台にフィールドワークを行いました。参加者も年々増え、今年は32名が平戸島を中心とし、戦国末期から江戸時代にかけてのオランダや中国との交流の様子を調査しました。

自らテーマを設定し、チームごとに助け合って事前に文献などを調べ、平戸の地理・歴史を貿易や建築・交易・文化交流などの様々な角度から、現地を巡りながら理解していく学習スタイルは、普通の教室での学びとは異なる探求力の養成につながっていったことと思います。

今後も毎年、異なるフィールドを舞台にし、長崎や東アジアの海域交流について理解を深め、かつ世界に発信していけるような知識と能力を身につけた学生を育てていきたいと思っています。

国際コミュニケーション学科4年
中国語専修 園島 綾

私がこの科目の履修を決めたのは、四年生として最後の思い出作りの一環となるのではないかと思ったからです。しかし、せっかく活動するからには、自分たちなりに平戸に向き合い、調査・考察をしようと考え、私たちは「平戸城下町の繁栄と現在」をテーマに設けました。それから7月1日のフィールドワークに向け、三か月かけて様々な文献を手分けして読み、行動計画を立てて当日に臨みました。実際にフィールドワークを終えると、一般の観光客として平戸を巡るのに比べ、調査を通して平戸の文化や現在の町並みの時代背景にまで目を向けて観察したことでより平戸についての理解を深め、見識を広げることができたので、参加してよかったと感じました。さらに、学年も専修言語もバラバラの子たちとチームを組んだことで付き合いの輪も広がり、普段とは違う楽しみもありました。

国際コミュニケーション学科2年
中国語専修 福重 帆菜実
韓国語専修 津村 美紀

今回私たちは文化フィールドワークとして、1泊2日で平戸に行ってきました。事前に平戸について自分たちで調べ、それをグループで共有し、平戸城やオランダ商館など興味のあるものを史料などでさらに詳しく調べました。

実際に平戸に行ってみると、思っていたよりも行動しやすい範囲に行きたいところがあったので、ひとつひとつゆっくりみることができとても勉強になりました。また、行きたいところだけでなく、足湯やカフェなど平戸を満喫することができ、とても楽しかったです。

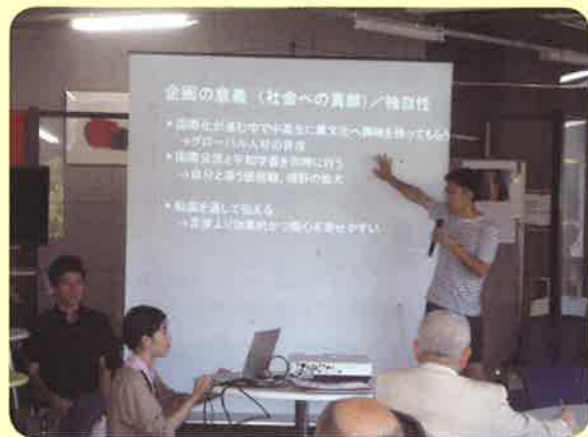
班の人たちとも様々な意見を共有していくなかで、打ち解けることが出来たのでよかったです。平戸について知りたかったことを知ることも、平戸の魅力を知ることでもでき、とても充実した1泊2日になりました。



「料理を通して国際交流&交流 Movie で大学広報」

プロジェクト名：国際交流プロジェクト 2015
 メンバー：吉野翔太郎、酒見優希、佐藤薫、村上菜、大塚まお、中村愛宏、太田圭祐

概要：活動の前半は、食べ物への関心は言葉の壁を超えるという発想を根底に、「食」と「料理」をテーマにしたイベントを企画した。中高生を主とした参加者と本学留学生とに、調理の共同作業を通して自然なかたちで意思の疎通を図ってもらおうという趣旨であった。後半は、学内の国際交流イベントを録画・編集し、大学広報に活用することを目指した。国際色豊かな本学の魅力を広く宣伝することを目的とした意欲的な取り組みであったが、準備時間の不足などから、残念ながら完成には至らなかった。「国際交流プロジェクト」は2016年度に引き継がれたため、新メンバーたちの活躍に期待したい。



「留学生生活情報ポータル」

プロジェクト名：世界で発見！こんなところに外大生
 メンバー：松山歩未、安藤大輔

概要：留学等で海外を訪れている／訪れた外大生から、また本学で学んでいる／学んでいた留学生から現地情報を集め、独自の視点と実体験に基づく海外情報サイト (<http://gaidaiproject.jimdo.com/>) を作成。これから留学する学生のためだけでなく、学外の方々にも興味を持ってもらえるようなサイトを目指した。サイトは何年も継続して作成していく予定で、初年度は手始めに「海外 Wi-Fi 事情」を中心に情報を集めた。2016年度は「各地のタブー」や「留学各地の駅前情報」に関するコンテンツを充実させる予定。



EVC(英語ボキャブラリーコンテスト)プロジェクト

メンバー：鴨川仁乃、松下ももこ、田中広志、森拓基、宮田晃一郎、太田千晶、高山真奈美
 高校生による「英語ボキャブラリーコンテスト (EVC)」が9年目の今回から学生主体の運営になるにあたり、私が初代リーダーを務めることになりました。過去2回、ボランティアとして携わった経験があったので、引き受けた当初はかなりの自信がありました。ですが、コンテストが成功するかどうかのすべてが私たちの責任になると気づいてからは、時々その重圧に押しつぶされそうになります。6名のメンバーと試行錯誤の毎日です。
 今回初の試みとして、高校生と大学生の交流を目的とした「サービラウンド」を企画しました。本戦とは趣向を変えて、国際的な豆知識について英語で出題します。英語を話す機会につながるよう、高校生と本学留学生が協力して解答するルールになっています。
 不安だらけですが、参加してくれる高校生に「楽しかった、もっと英語をがんばりたい」と言ってもらえるよう、精一杯頑張ります。
 (リーダー：鴨川仁乃)



高大連携



長崎外国語大学は、高大連携（高校生の外国語学習の支援事業）を進めております。壱岐高等学校との高大連携では、東アジア歴史・中国語コースの学生が、5日間本学で中国語特別研修を行いました。中国語講座では中国語の文法や文化を学び、さらなる中国語のスキルを高める演習となりました。中国人留学生との交流では、一緒に餃子作りやバーベキューを行い、より身近に世界を感じてもらえるきっかけになりました。



入試日程



2017 (平成29) 年度 春季入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表
スカラシップ		2/1 (水)	
一般 A	1/6 (金) ~ 1/24 (火)	2/1 (水)・2 (木)	2/14 (火)
特別入試 A		2/2 (木)	
一般 B			
自己推薦 A	2/15 (水) ~ 2/28 (火)	3/3 (金)	3/14 (火)
特別入試 B			
自己推薦 B	3/14 (火) ~ 3/24 (金)	3/27 (月)	3/28 (火)
センター A	1/6 (金) ~ 2/2 (木)		2/14 (火)
センター B	2/15 (水) ~ 3/7 (火)		3/14 (火)
センター C	3/14 (火) ~ 3/24 (金)		3/28 (火)



新任教員紹介～よろしくおねがいたします～

フェブル エ マ ニ ュ エ ル
Fevre Emmanuelle

(国際コミュニケーション学科 外国人特別任用講師)

Hello, my name is Emmanuelle, I am the new French lecturer. Before coming here, I have taught French in Brazil and in France. I have done my Master's thesis on creative writing and I think that creative expression takes an important part in learning a foreign language. よろしくおねがいたします。

の だ たけし
野田 雄史

(国際コミュニケーション学科 准教授)

飯塚に二十年、久留米に六年、福岡に十七年、佐賀に五年と、北部九州を転々としてきました。特に飯塚や佐賀では長崎街道に親しんで暮らしましたので、このたび長崎に来ることになり、「街道の起点に着いた」という格別な感慨を持っています。歩くことと食べることが趣味なので、長崎を歩き倒して食べ倒れたいと思っています。

国外では広州・香港・上海・釜山に詳しいと自負しています。それ以外の都市も勉強していきますので、地図を片手にお喋りしましょう。

新刊紹介

キム・ヨンス [著] きむ・ふな [訳]

ワンダーボーイ

(2016年, CUON)

原作本：김연수『원더보이』(2012年, 문학동네)

1984年、父と帰宅途中に交通事故に遭った十五歳の少年ジョンファン。死んだ父は北のスパイ車両に突っ込んだ愛国志士となり、昏睡状態から目覚めたジョンファンは人の心を読みとる能力を身につける。以来、ジョンファンには全く別の世界が広がる。容疑者たちの心を読ませるため自分を取り調べ室に入れる「才能開発室」から逃げ出したジョンファンは、この世で最も火炎瓶を上手に投げるといふソングェ兄、自分のせいで初恋相手が死んだと思ひこんで男装するカント兄、小さな出版社を運営する元記者のジェジンおじさんらに出会うことになるのだが…

(著者のキム・ヨンス先生は、昨年本学に外国人研究員として滞在しておられた、韓国では著名な文学者で、数々の文学賞に輝いておられます。)



大学情報 同窓会活動報告

福岡・大分支部 同窓会開催報告

平成28年9月4日、ソラリア西鉄のトランスブルー17階に於きまして、福岡・大分ブロック第2回同窓会を開催致しました。

大学より粟屋理事長、石川学長、同窓会より平野同窓会長、岩田副会長、出口同窓会事務局長にお越し頂きました。

当日は、台風の影響もあり、当初の見込みより少ない26名の参加となりましたが、会場の眺望の素晴らしさも御馳走となり、楽しい一時を過ごさせて頂きました。

次回は、再来年6月に開催予定です。

今後は新役員も増員し、役員一同一丸となって支部運営に携わる覚悟でおります。

どうかお誘い合わせの上、ご参集下さいますようお願い致します。

お待ちしております。

(古瀬 記す)



関東地区支部 同窓会開催報告

平成28年8月6日(土)、東京都港区六本木の国立新美術館の地下カフェテリアにて、長崎から同窓会会長の平野大壽様と幹事の出口すゞ美様をお迎えし、会員6名のこじんまりとした同窓会となりました。今回は初企画として、午前には美術館でルノアール展を鑑賞、展示会の感想をまじえながら、新校舎のビデオ鑑賞、「ぶどうの樹」の掲載方法等、充実したランチ会と相成りました。同窓会開催のお知らせが、「ぶどうの樹」の定期発行時期に間に合うか等は今後の課題です。

これからも楽しい企画を「ぶどうの樹」に掲載予定ですので、関東支部同窓会開催の折には、是非ご参加ください。

保護者会だより

今号では、本学保護者会の紹介を致します。

保護者会役員(理事)は、今年度は森田美保子会長以下16名で構成されており、年に1度の定期総会と6回の理事会を開いております。さて、保護者会は何を話し合っているのでしょうか?

昨年度の実績からその具体的な内容の一部を紹介しましょう!

◎支援と助成

- ・課外活動団体21団体 ・スポーツ大会に昼食、飲料の提供
- ・日本水泳競技選手権大会に出場した学生に参加旅費
- ・通訳ボランティア育成セミナーに参加した学生への参加旅費
- ・「世界こども平和会議」における司会、通訳補助者ボランティア学生へ、交通費、日当、Tシャツの支給
- ・スピーチ大会参加学生に対し、奨励賞を授与
- ・語学教育の到達目標達成奨励として5言語(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語)の学生述べ173名に対し到達目標達成奨励金を支給・大学が選任する勤労奨学生6名に対する助成
- ・卒業記念品 ・学内情報誌「ぶどうの樹」出版に助成
- ・海外へ留学する学生に対し 留学許可証の授与式・壮行会
- ・外語祭を運営する校友会へ協賛金

◎寄付

- ・第65回外語祭への保護者会の参加とオリジナルTシャツを制作・販売し、その売上を大学へ寄付。(今年度実績、外語祭の2日間 販売数295枚、売上147,500円)
- ・ネパール大地震における活動義援金を支援
- ・学院創立70周年記念事業へ寄付 などなど。

以上のように、学生の皆さんと大学に数多くの支援を行っております。

特に専修科目の到達目標達成奨励金は、皆さんの日々の努力の成果として動機付けになれば保護者会としても大変喜ばしいことです。



国際コミュニケーション学科
フランス語専修3年 大石龍季さん

また、今年度は初めての試みとして、大学オリジナルTシャツを学生自身にデザインしてもらおうと学内公募し、その結果、アイディアに溢れた多くの作品が寄せられ選ぶのに苦労するほどですが、最優秀賞(賞金3万円)は、フランス語専修3年 大石龍季さんが獲得しました。



長崎外国語大学 保護者会

外語祭でお披露目し販売した新デザインTシャツは、一部の色やサイズで売り切れてしまうほどの人気となり、販売に関わった役員からも喜びの声が上がりました。現在は、大学売店で購入できます。

そして、校友会との意見交換で要望が上がった「無料バスの増便」「アンペロス寮におけるインターネット環境の拡充」「学食、売店の営業時間の延長」「教科書販売に対する改善」などを要望書にまとめ大学側へ提出しました。

更に、保護者間の連携を図るために、地区別保護者会(福岡、長崎)に参加し、保護者間の意見や情報交換なども行っています。

このように今後も大学との連携強化を軸に、保護者会が学生及び保護者の皆さんと大学の良き橋渡し役となるよう、一丸となって励んでまいりますので、学生、保護者の皆さんからのご意見、ご要望、またご提案などございましたら是非お寄せください。

(長崎外国語大学保護者会 総務理事 甲斐 一美)

寄付事業のお礼と報告

1. 教育研究の整備に関わる寄付事業

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は平成28年10月末で223件、13,015,000円のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者をはじめとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

ご支援いただいた寄付を活用させていただき、平成27年度寄付事業としてビデオ映像収録システムおよびeラーニング設備を導入いたしました。皆様の温かいご支援にお応えすべく、今後も教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございます。

【寄付金の状況(平成28年10月31日現在)】

(収入の部)	寄付金総額	13,015,000円	
	普通預金利息	165円	
(支出の部)	ビデオ映像収録システムおよびeラーニング設備	7,477,646円	
(寄付金残高)		5,537,519円	内訳：普通預金 1,062,519円 日本私立学校振興・共済事業団保管分 4,475,000円

●寄附所ご芳名一覧● 平成27年4月～平成28年10月ご寄附分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました。

アグチ産業 株式会社 株式会社 アド長崎新聞 株式会社 一広 株式会社 福岡産業 有限会社 雲仙九州ホテル 扇精光ソリューションズ 株式会社 有限会社 小田篤衛保障 有限会社 くさの書店 株式会社 クリーン・マット 株式会社 松栄設備 株式会社 セキュリティハウスケント 株式会社 全日警 DEIT 株式会社 長崎外国語大学ビジネス株式会社 長崎自動車 株式会社 株式会社 長崎酒造社 長崎放送 株式会社 株式会社 西九州エレベーターサービス	日新火災海上保険株式会社 九州第2事業部 日本瓶工印刷 株式会社 林業石油附長崎支店 有限会社 富士自動車 富士ビル総合株式会社 星野精工設備 株式会社 ホテルニュー長崎 株式会社 ほんだコーポレーション ほんだ商店 関マゴオリ 松尾建設株式会社長崎支店 株式会社 松田久花園 株式会社 森美工務店 株式会社 大和屋 株式会社 ライセンスアカデミー 株式会社 長崎酒造社 三菱ファンクティオン&プロパティーズ株式会社 西日本支社営業部 株式会社アピット・ディグス 加藤敬夫	赤岡 佳代子 石井 朝紀子 徳枝 ヨネカ 田村 博 江口 茂樹 江崎 進 成谷 和枝 青村 美津江 大石 昌子 清水 剛治 小川 守 萩野 貴美子 小田 純子 小野 恭子 片山 美千恵 金子 友木子 上嶋 敦子 唐原 こずえ	川井 千代子 岸川 善孝 喜多村 隆昭 小泉 みよし (旧姓：村上) 児玉 葉子 小道 隆 近藤 敏子 柴田 政男 菅原 秀一 菅原 雅子 高木 泰文 田中 悦子 田端 安彰 出口 すゑ美 朝永 洋子 中尾 啓一	永尾 あつ子 中溝 悦美 中村 秀美 西井 恵子 坂本 寛 株式会社 橋本商会 東 ひとみ 吉岡 学 藤河 摩知子 有浦 英敏 藤野 英子 古谷 文夫 刈田 信子 伊藤 伊都子 松田 明大 松本 千鶴子 宮崎 あいら (旧姓：佐藤)	宮崎 昭義 森重 登喜江 森谷 和一郎 安川 久美子 (旧姓：松永) 山下 千鶴子 奥田 勝 吉岡 学 吉岡 みどり 安藤 伸吉 中野 隆生 一木 和人 伊藤 達章 岩永 弘 梅野 秀樹 大串 秀隆 緒方 伸臣	甲斐 一美 隈元 隆文 栗田 壽三男 下村 光典 高野 悦子 竹中 義晴 田所 剛一 田所 優里 塚本 三領 仲宗根 美佐子 中野 隆生 中村 圭介 中村 弘美 伊藤 将彦 西倉 雅宏 森 勇	吉岡 学 青山 恒 栗屋 曠 伊藤 正直 岩田 耕作 川原 仁幸 清野 定演 桑原 伸良 佐藤 朱穂 杉野 博子 竹市 さよ子 名村 真理子 滝崎 康孝 前田 紀子 森脇 浩 山口 初寛 山本 哲哉 梁 正善
--	--	---	--	---	---	---	---

2. 新長崎学研究に関わる寄付事業

学校法人長崎学院創立70周年を機に、長崎で育まれてきた国際理解や平和などに関する見識を学問的に位置付け、国際協力活動への参画に役立つグローバル人材の育成実現のため、2016(平成28)年4月1日に「新長崎学研究センター」を設置いたしました。

まずは、幕末に長崎に初上陸し、以後10年間若いサムライ志士を国際教養で鍛え、後に近代国家「明治」日本の養父と讃えられたG. F. フルベッキ博士について取り上げて参ります。グローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

【寄付金の状況(平成28年10月31日現在)】

(収入の部)	寄付金総額	150,000円	
	普通預金利息	0円	
(支出の部)	調査・研究費	17,687円	
(寄付金残高)		136,313円	内訳：普通預金 136,313円

●寄附所ご芳名一覧●

平成27年4月～平成28年10月ご寄附分
たくさんの温かいご支援ありがとうございました。

栗屋 曠、石附 弘、落 忠男、川原 仁幸、 宅島 壽雄、本田 貞勝、宮崎 伸生、宮崎 牧子、 森脇 浩

寄付に係る税金(所得税・住民税)の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人：寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。

【(注)：寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】
地方自治体が条例指定している場合は、住民税についても寄付金控除が適用されます。

※各自治体の条例指定の有無につきましては、各自治体によって異なりますので、ホームページ等でご確認ください。直接自治体へお問い合わせください。

法人：受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。

【事前の手続きが必要ですので、ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：榎本)
Tel 095-840-2003 (法人財務課直通) E-mail keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



インターナショナルデイに参加した学生